Ⅱ．調査結果の要約

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

調査結果のまとめ①

【市場環境および平均寿命について】

1．現在飼育率、平均飼育頭数、飼育頭数、飼育意向 ・・・・・P.18～20

・飼育頭数・飼育率共に、犬は減少、猫は横ばいの傾向にある。飼育意向についても同様の傾向。

2．平均寿命 ・・・・・P.24

・犬の平均寿命は14.29歳、猫の平均寿命は15.32歳。

・超小型犬の平均寿命は小型犬、中・大型犬に比べて長い。

【種類および飼育場所、フードタイプについて】・・・・・P.21,65

・種類： 犬は「純血」が17年から微増し、9割に迫る。猫も「純血」が15年より徐々に増加している。

・飼育場所： 犬は「散歩・外出時以外は室内」、猫は「室内のみ」が経年で増加。

・フード： 犬猫ともに「市販のドライタイプ」が最も多い。

【飼育実態・意識について】

1．飼育きっかけ TOP3 ・・・・・P.32,52

犬：「以前飼っていたペットが亡くなったから」「ペットショップで見て欲しくなったから」「毎日ペットの世話をできる状況になったから」

猫：「ペットを拾った、迷い込んできたから」「友人/知人などから飼育を頼まれた、もらったから」「以前飼っていたペットが亡くなったから」

2．飼育理由 TOP3 ※犬・猫ともに同項目 ・・・・・P.32,52

「生活に癒し・安らぎが欲しかったから」「過去に飼育経験があり、また飼いたくなったから」「家族・夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから」

3．生涯必要経費 ・・・・・P.37,57

犬：全体：1,793,005円　超小型：2,004,449円　小型：1,745,551円　中・大型：1,483,482円

猫：全体：1,211,526円　外に出る：1,223,802円　外に出ない：1,081,702円

4．ペットフード・市販ペット用品購入チャネル TOP3 ・・・・・P.66,67

犬：「ホームセンター・ドラッグストア」「インターネット通販」「スーパー」

猫：「ホームセンター・ドラッグストア」「スーパー」「インターネット通販」

5．ペット飼育阻害要因（MA） TOP3 ※非飼育・意向者 ・・・・・P.85,86

犬：「旅行などの長期の外出がしづらくなるから」「お金がかかるから」「集合住宅に住んでいて、禁止されているから」

猫：「集合住宅に住んでいて、禁止されているから」「お金がかかるから」「旅行などの長期の外出がしづらくなるから」

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

調査結果のまとめ②

（続き）【飼育実態・意識について】

6．犬のために利用しているサービス　TOP3 ・・・・・P.92

「トリミングサービス」「旅行中や外出中の世話代行サービス」「ペットと出かけられる場所がすぐわかるスマートフォンのアプリ」

7．飼い主が高齢化した場合に、犬のためにあったらいいと思うサービス　TOP3　※現在飼育者 ・・・・・P.93

「旅行中や外出中の世話代行サービス」「飼い主が高齢になりペットを飼えなくなった場合のペット受入施設の提供サービス」
「老化したペットの世話対応サービス」

8．シニアのペット飼育で苦労しそうなこと　TOP3 ・・・・・P.95~98

現在犬飼育者：
「自分や家族の病気・入院・介護で、飼育自体が困難になること」「自分や家族の死亡により、飼育自体が困難になること」
「ペットが死亡した際にペットロスになり、飼い主の体調悪化につながる恐れがあること」

犬非飼育・意向者：
「自分や家族の病気・入院・介護で、飼育自体が困難になること」「自分や家族の気力・体力が衰えて、飼育自体が困難になること」
「自分や家族の気力・体力が衰えて、毎日の世話が困難になること」

現在猫飼育者：
「自分や家族の病気・入院・介護で、飼育自体が困難になること」「自分や家族の死亡により、飼育自体が困難になること」
「ペットが高齢化して介護が必要になった際にケアがしきれないこと」

猫非飼育・意向者：
「自分や家族の病気・入院・介護で、飼育自体が困難になること」「ペットが高齢化して介護が必要になった際に、ケアがしきれないこと」
「自分の気力・体力が衰えて、飼育自体が困難になること」

この5年間で犬飼育率は低下の一途をたどり、猫も横ばいに留まる中、今後の飼育意向についても同様の状態にあるため、厳しい市場環境は今後も続くものと考えられる。特に犬・猫共に「純血」が増え、「室内での飼育」が進んでいること、飼育阻害要因としても「お金がかかる」「集合住宅での禁止」があがるなど、『経済状態』や『住宅環境』などが市場に与える影響は大きいと推測される。
さらに、「旅行などの長期の外出ができない」「飼育が困難になる」など短期・長期を問わず、『不在により、世話ができなくなる状態』になることを不安視していることから、既にサービスとして存在している「世話代行サービス」や「高齢者のペット受入施設」利用の啓蒙などが、今後の飼育促進増に向けた取り組みとして期待される。

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.